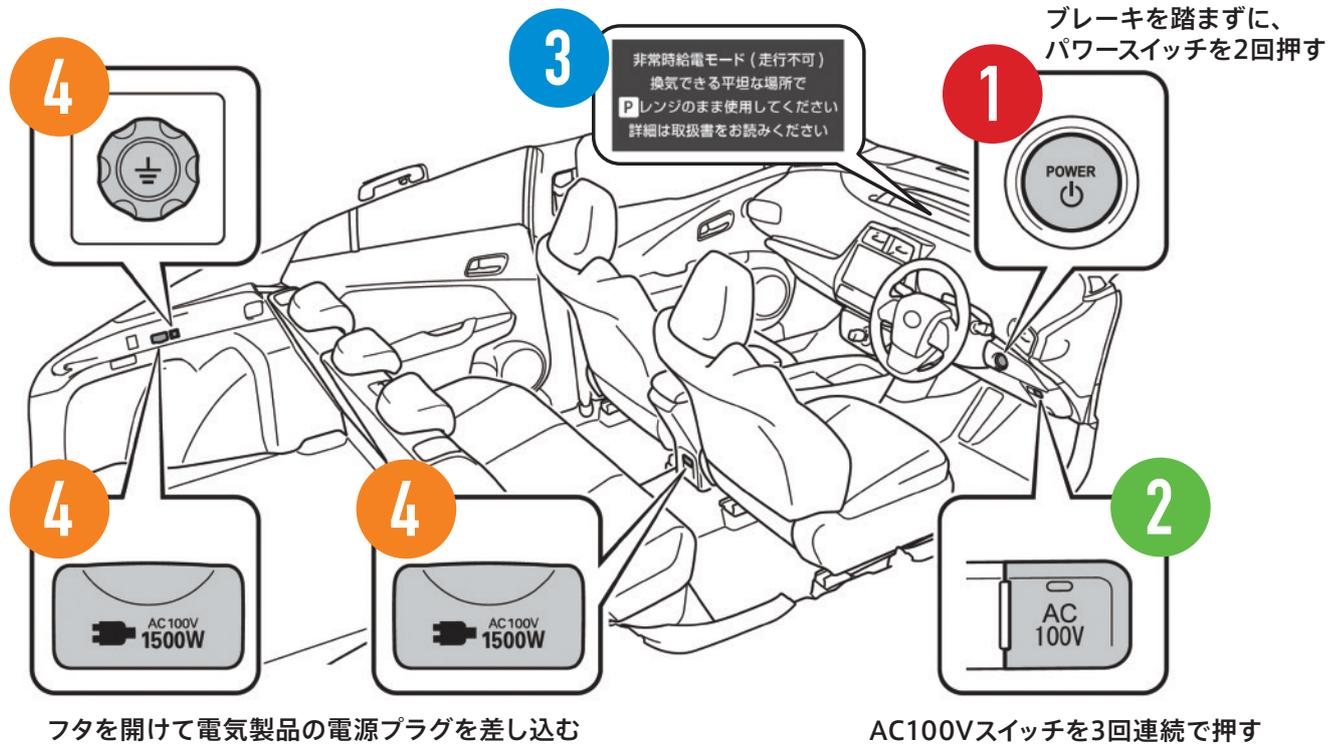


非常時給電システムの使い方

災害などによる非常時に電力が必要なとき、次の方法を行うことで、車両の走行機能を停止した状態で給電ができます。

例 プリウスの場合

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。



フタを開けて電気製品の電源プラグを差し込む

AC100Vスイッチを3回連続で押す

1

ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押して、ONモードにしてください。
ブレーキを踏んでいると非常時給電システムは使用できません。

2

AC100Vスイッチを3回連続で押してください。
間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

3

ディスプレイに非常時給電モードの説明が表示されたら起動完了となります。
起動後、エアコンをONにしてください。システム保護で車内温度を一定に保つため、必要な操作となります。

4

フタを開けて、電気製品の電源プラグを差し込んでください。
アース線のある電気製品を使用する時は、ラゲージルーム内のコンセントを使用し、アース線をアース端子に接続してください。 ※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。

安全にお使いいただくために、ご注意いただきたい内容があります。

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

■システム作動中はエンジンが作動するおそれがあるので、車庫内等、換気の悪い場所を避け、換気の良い場所に駐車してください。 ■合計1500W以下の電気製品をご使用ください。ただし、1500W以下の電気製品でも正常に作動しない場合があります。詳しくは販売店におたずねください。製品によっては正常に作動しない場合やご注意ください。 ■一部地域では、駐車または停車中にエンジンを稼働させた場合、条例に触れるおそれがありますので十分にご注意ください。 ■電子キーでドアの施錠・解錠をすることはできません。メカニカルキーのみでドアの施錠・解錠ができます。 ■電気製品には使用可能電源の周波数が50Hzか60Hzのどちらかに制限されているものがありますので、電気製品の取扱説明書を確認してください。 ■電子レンジ、蛍光灯(インバーター式除く)、水銀灯、電気時計、洗濯機、ステレオ等で周波数が異なると使用できないものがあります。特に電子レンジは電源周波数が設定と異なると発熱することがあり、注意が必要です。 ■工場出荷時はアクセサリコンセントの周波数は60Hzに設定(プリウスの場合)されていますが、50Hzに変更可能です。変更は販売店に相談して実施ください。